
一般口演 1

11月1日 9:30-10:18 B会場

座長：太田博樹（北里大学）

O-1 古代日本列島人の核ゲノム解析（第2報）

○神澤秀明（科博・人類）、Kirill Kryukov（東海大・医）、Timothy Jinam（遺伝研・集団/総研大・遺伝）、佐藤孝雄（慶応・文）、奈良貴史（新潟医療福祉大・医療技術・理学療法）、安達登（山梨大・医）、細道一善（遺伝研・人類遺伝/総研大・遺伝）、井ノ上逸朗（遺伝研・人類遺伝/総研大・遺伝）、斎藤成也（遺伝研・集団/総研大・遺伝）、篠田謙一（科博・人類）

O-2 日本人の頭部形態に関する遺伝要因のゲノムワイド探索

○山口今日子、川口亮、佐藤丈寛、渡邊千晶（琉球大・医）、山本健（久留米大・医）、石田肇、木村亮介（琉球大・医）

O-3 日本人における三次元顔面形態のゲノムワイド関連解析

○木村亮介、渡辺千晶、宮里絵理、山口今日子、佐藤丈寛、川口亮、石田肇（琉球大・医）、山本健（久留米大・医）、河内まき子、持丸正明（産総研・デジタルヒューマン）

O-4 ヒト集団で広範にみられる解毒酵素遺伝子 GSTM1 欠失アリルの進化的起源

○齊藤真理恵（東大・院理）

一般口演 2

11月1日 10:18-11:06 B会場

座長：木村亮介（琉球大学）

O-5 琉球諸島民、北海道アイヌ、本土日本人の集団ゲノム解析

○太田博樹、松前ひろみ、埴原恒彦（北里大・医）、中込滋樹、間野修平（統数研）、佐藤丈寛、木村亮介、石田肇（琉球大・医）

O-6 次世代シーケンサによる古人骨ゲノム解析：コンセンサス配列の構築

水野文月 (東邦大・医)、○植田信太郎 (東大・院理)

O-7 古代中国 3000 年前の殷墟から出土した古人骨ゲノム解析

○水野文月 (東邦大・医)、澤藤りかい (東大・院理)、木花牧雄 (東大・院理)、王瀝 (杭州師範大・医)、植田信太郎 (東大・院理)

O-8 アジア・オセアニア人における代謝特性の民族差の理解を目指したゲノムワイド SNP 研究

○中山一大 (自治医大・医)、大橋順 (筑波大・医)、香川靖雄 (女子栄養大)、岩本禎彦 (自治医大・医)

一般口演 3

11 月 1 日 11:06-11:42 B 会場

座長：篠田謙一 (国立科学博物館)

O-9 フィリピンのママヌワ人ははたして“ネグリト”か？

○尾本恵市 (東京大・名誉教授)

O-10 ベルデ岬諸島の位置に沈んだアトランティス島から大脱出した R h (-) 血液型の古代文明人、「島」

生まれのインド・ヨーロッパ祖語と、外孫集団生まれのアルタイ諸語

○酒井哲夫

O-11 母方先祖には先住民が、父方先祖には外来の権力民が現れる例；日本人平均と飛騨びと - DNA

解析より

○住斉 (東京大・人類学)、佐藤陽一 (徳島大・ヘルスバイオサイエンス研究部)、針原伸二 (東京大・人類学)

一般口演 4

11月1日 15:40-16:40 B会場

座長：中務真人（京都大学）

O-12 ヒト上顎大白歯の「退化傾向」：形態地図法による定量化

○森田航（新潟大・院医歯）、森本直記（京都大・院理）、大島勇人（新潟大・院医歯）

O-13 オナガザルの咬耗小面から顎運動を復元する

○清水大輔（京都大・理）、佐々木智彦（東京大・総合博）、諏訪元（東京大・総合博）

O-14 ゴリラ(*Gorilla gorilla*)の犬歯形態と性的二型

○山田博之（愛知学院大学・歯）、濱田穰（京都大学・霊長類研究所）、中務真人（京都大学・理）、石田英實（聖泉大学・看護）

O-15 中国南部における更新世～現代の化石霊長類相の年代的变化

○高井正成（京都大・霊長研）、張穎奇・金昌柱（中国科学院・古脊椎動物古人類研究所）、河野礼子（科博・人類）、王頌（広西民族博物館）

O-16 ギガントピテクス臼歯サイズの時代変化

○河野礼子（科博・人類）、張穎奇・金昌柱（中国科学院・古脊椎動物古人類研究所）、高井正成（京都大・霊長研）、王頌（広西民族博物館）、Terry Harrison（ニューヨーク大学）

一般口演 5

11月2日 8:45-9:45 A会場

座長：奈良貴史（新潟医療福祉大学）

O-17 小竹貝塚出土人骨について

○坂上和弘（科博・人類）

O-18 宮城県山王遺跡出土の甕棺墓内から検出された9世紀前葉の人歯

○鈴木敏彦（東北大・院歯・歯科法医情報）、柳澤和明（東北歴史博物館）

O-19 北海道の縄文早・前期貝塚の再検討 - 伊達市若生(わかおい)貝塚を中心に -

○青野友哉・永谷幸人・西本豊弘（伊達市噴火湾文化研究所）

O-20 洞ノ口遺跡出土焼骨資料から推定された東北地方中世の火葬行為の一例

○富岡直人（岡理大・生地）、足立望（岡理大・総情）

O-21 嵩山蛇穴遺跡の年代学的研究

○遠部慎（北海道大学・埋蔵文化財調査室）、畑山智史（埼玉大学・大学院）、村上昇（豊橋市文化財センター）

一般口演 6

11月2日 9:45-10:21 A会場

座長：岡崎健治（鳥取大学）

O-22 ハンセン氏病を思わせるイラン初期農耕遺跡出土人骨

○多賀谷昭（長野県看護大）、長岡朋人（聖マリアンナ医大）、宮内優子（筑波大・院）

O-23 日本列島古人骨集団における四肢の変形性関節症性変化

○鈴木信司、砂川昌信、進藤美咲、木村亮介、山口今日子、佐藤丈寛（琉球大・医）、米田 穰（東京大・総研博）、長岡朋人（聖マリアンナ医大・医）、分部哲秋、佐伯和信（長崎大・院医歯薬）、平田和明（聖マリアンナ医大・医）、弦本敏行（長崎大・院医歯薬）、石田 肇（琉球大・医）

O-24 中妻貝塚と姥山貝塚出土人骨における口腔病理、歯牙の外傷及び咬耗の比較

○佐宗亜衣子（東大・理、東大・総合博）、近藤修（東大・理）

一般口演 7

11月2日 10:21-10:57 A会場

座長：坂上和弘（国立科学博物館）

O-25 縄文時代人骨の MSMs の地域的多様性と集団間差の時代間変異

○米元史織（九大・比文）

O-26 骨盤形態から推定される身体プロポーションの西日本地域における時代変化

○高棕浩史（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム）

O-27 身長と身分階層の関係から見た近世の女性

○田口哲也（早稲田大学）、奈良貴史（新潟医療福祉大学）

一般口演 8

11月2日 9:30-10:06 D会場

座長：近藤信太郎（日本大学）

O-28 マカク属内腸骨動脈分枝の形態学的特徴

○姉帯飛高, 時田幸之輔, 小島龍平 (埼玉医大・保健)

O-29 クモザル腕神経叢の観察

○緑川沙織 (埼玉医大・院医), 時田幸之輔 (埼玉医大・保健), 小島龍平 (埼玉医大・保健)

O-30 *Homo* を含む現生 Catarrhini の Orbita 内壁の morphology

特に Canales, Foramina, Fissurae, Fossae 等の比較検討

○澤野啓一(1 神歯大,4,11), 横山高玲(2 横市大脳外科), 田中健(3 江戸川病院), 加藤隆弘(3), 高橋常男(1), 百々幸雄(6 東北大医), 鈴木敏彦(7 東北大歯), 澤田元(8 横市大組織), 濱田穰(9 京都大), 川田伸一郎(10 国立科学博物館), 萩原浩明(4 横市大放射線科), 井上登美夫(4), 吉川信一郎(2), 川原信隆(2)

一般口演 9

11月2日 10:06-10:54 D会場

座長：清水大輔（京都大学）

O-31 ヒヒ下顎骨の外側面にみられる窩の形態

○近藤信太郎 (日本大・松戸歯), 内藤宗孝 (愛知学院大・歯), 松野昌展 (日本大・松戸歯), 高井正成 (京都大・霊長研)

O-32 トガリネズミの双波歯型臼歯における咬頭形成順序

○山中淳之 (鹿児島大・歯), 安井金也 (広島大・理), 岩井治樹, 倉本恵梨子, 後藤哲哉 (鹿児島大・歯)

O-33 マーモセットにおけるホイッスル様音声の生成メカニズム

○西村剛 (京都大・霊長類研)、香田啓貴 (京都大・霊長類研)、徳田功 (立命館大・機械工)、脇田真清 (京都大・霊長類研)、伊藤毅 (琉球大・医)

O-34 マカクにおける外表形態特徴とその変異性

○濱田穰 (京大・霊長研)

一般口演 10

11月2日 10:54-11:42 D会場

座長：西村剛 (京都大学)

O-35 野生アヌビスヒヒがケガを受ける頻度と創傷治癒速度

○松本晶子 (琉大・観光)

O-36 アヌビスヒヒにおける皮膚創傷治癒過程の近種霊長類との比較

○内海大介 (琉球大・医)、高橋健造 (琉球大・医)、松本晶子 (琉球大・観光)

O-37 道具使用の学習過程：サルの道具による把持動作のための pre-shaping 動作形成過程

○平井直樹¹、魚谷恭太郎¹、稲富貴美¹、本郷利憲² 佐々木成人² (¹杏林大学・医、²都神経研・神経生理)

O-38 標点を使用しない三次元動作計測システム (ANAKIN System)の精度検証

○足立和隆 (筑波大・体育)、石本明生 (HAL デザイン研究所)、本多信夫 (HAL デザイン研究所)、吉岡松太郎 (HAL デザイン研究所)

一般口演 11

11月2日 14:10-14:46 A会場

座長：松村博文（札幌医科大学）

O-39 西ユーラシア中後期旧石器時代人類身体形状の地域変異について

○木村 賛（東京大・総博）

O-40 トルコ新石器時代、ハッサンケイフ遺跡出土人骨（予報）

○近藤 修（東京大・理）、田代恵美（筑波大・歴史人類）、三宅 裕（筑波大・歴史人類）

O-41 フィリピン共和国ミンダナオ島スリガオ市エスカロン洞窟の人骨（エスカロン人）

○馬場悠男（科博名誉教授）、米田穰（東大・博）、金澤英作（北原学院）、尾本恵市（東大名誉教授）、F. A. アルメダ（Surigaonon Heritage Center）、L. E. バウソン（National Research Council of the Philippines）

一般口演 12

11月2日 14:46-15:46 A会場

座長：石田肇（琉球大学）

O-42 上海市広富林遺跡と出土人骨の整理作業（予報）

○岡崎健治（鳥取大・医）、菊地大樹（京都大・人文科学）、高椋浩史（土井ヶ浜ミュージアム）、米田穰（東京大・博物館）、中橋孝博（九州大）、茂原信生、松井章（奈文研・埋蔵文化財）、陳傑、宋建（上海博物館）、張敬雷（南京大）、魏東、朱泓（吉林大・辺境考古）、張樺（Simon Fraser Univ.）

O-43 ウィーン自然史博物館所蔵の日本人古人骨

○橋本裕子（京都大・総合博）

O-44 ケネウイックマンから探る「アイヌ・縄文コネクション」とアメリカ大陸最古の先住民の起源

○瀬口典子（九州大・比文）、ローリング・ブレース（ミシガン大・人類）

○-45 関東貝塚縄文人骨と動物骨のアミノ酸窒素安定同位体分析

○日下宗一郎(総合地球環境学研究所)、陀安一郎(京都大学生態学研究センター)、米田穰(東京大学総合研究博物館)

○-46 イネの炭化穎果における炭素・窒素同位体比

○米田穰(東京大・総研博)、山崎孔平(東京大・総研博)、菊地有希子(パレオ・ラボ)

一般口演 13

11月2日 15:46-16:34 A会場

座長：近藤修(東京大学)

○-47 港川フィッシャー遺跡の堆積状況と年代に関する新知見

○藤田祐樹、山崎真治(沖博美)、新里尚美(八重瀬町教委)、松浦秀治、近藤恵(お茶大)、馬場悠男(科博)

○-48 沖縄先史文化と縄文文化との「遭遇」

○山崎真治(沖縄県立博物館・美術館)、國木田大(東京大学人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設)

○-49 琉球列島南島中部圏(奄美・沖縄諸島)貝塚時代における社会組織の複雑化

○高宮広土(札幌大・文化)、新里貴之(鹿児島大・埋蔵文化財センター)

○-50 カラハリ狩猟採集民における小・中型哺乳類の狩猟

○今村薫(名古屋学院大・経済)

一般口演 14

11月2日 14:10-14:46 C会場

座長：長岡朋人（聖マリアンナ医科大学）

O-51 現代人における骨盤の耳状面前溝とその形成要因

○五十嵐由里子（日本大・松戸歯）

O-52 側方面頭部X線規格写真による琉球弧と本土日本の女性頭蓋顔面形態比較

○山内忠、木村亮介、佐藤丈寛、川口亮、山口今日子（琉球大・医）、深瀬均（北海道大・医）、山口徹太郎（昭和大・歯）、当真隆、宮本潔人（アドベンチストメディカルセンター）、石田肇（琉球大・医）

O-53 先史縄文人・現代日本人胎児における四肢骨の相対成長

○水嶋崇一郎（聖マリアンナ医大・解剖）、平田和明（聖マリアンナ医大・解剖）

一般口演 15

11月2日 14:46-15:22 C会場

座長：足立和隆（筑波大学）

O-54 大型類人猿とヒトにおける四肢骨の比較発生研究

○中務真人（京都大・理）、森本直記（京都大・理）、山田重人（京都大・医）、荻原直道（慶應大・理工）

O-55 身体プロポーション発育の個体変異

○佐竹 隆（日大・松戸歯）、広原紀恵（茨城大・教育）、S. Koziel (Polish Academy of Sciences)、服部恒明（茨城大・教育）

O-56 成人のデータに認められる近年の日本における反短頭化

○河内まき子（産総研・デジタルヒューマン）

一般口演 16

11月2日 15:22-15:58 C会場

座長：井原泰雄（東京大学）

O-57 統計学的手法を用いた欠損のある原人頭骨の脳容量推定

○久保大輔（筑波大・体育）、河内真紀子（産総研・DHRC）、持丸正明（産総研・DHRC）、荻原直道（慶応大・理工）、海部陽介（国立科博・人類）

O-58 ヒトの生理的早産の進化をさぐる新手法

○海部陽介（国立科博）、矢野航（朝日大・歯）、清水大輔（京都大・理）、西村剛（京都大・霊長研）、金子剛（国立成育医療センター）

O-59 情動伝染と共感行動の進化モデル

○中橋渉（総研大・先導研）、大槻久（総研大・先導研）

一般口演 17

11月2日 15:58-16:22 C会場

座長：海部陽介（国立科学博物館）

O-60 連合パートナーの選択と犬歯サイズの縮小に関する個体ベースシミュレーション

○井原泰雄（東京大・理）

O-61 エージェントベースシミュレーションで解く弥生時代の農耕化に関する問題

○坂平文博（(株)構造計画研究所、東工大・総合理工）、寺野隆雄（東工大・総合理工）